

科目名	脱臼実技（下肢）							年度	2026		
英語科目名	Dislocation practical skill (Lower limbs)							学期	前期		
学科・学年	柔道整復科 3年次			必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	有山敦士、宮本功三、青木伊之、後藤晃弘、杉本知、加藤健太、秋田雄大			教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		

【科目の目的】

柔道整復師の業務で必要な脱臼を学び、外傷(脱臼)が発生した場合の対応を学ぶ。

【科目の概要】

部位別に具体的な外傷の整復・固定や治療に至るまでの注意事項を学びます。

【到達目標】

柔道整復師として臨床現場で遭遇する下肢の脱臼を中心として学ぶ。外力の方向性から発生する脱臼の分類、同外力から他の外傷の合併及び鑑別、性別・年齢等における発生要因などを踏まえ理解する。また、弾発性固定肢位や症状からの脱臼と判断することを理解し、それぞれの脱臼における整復法の理解と整復法実技、また実施時の注意点を学び、臨床現場で実践してできる技術を獲得し、医療人としての資質を養うことを目標とする。

【授業の注意点】

医療人としての資質をはぐくむため受講態度や私語などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めないと共に、公共交通機関の遅延等が予測される場合はそれに対応できるようにすること。1年生からの継続した内容が必要となるため、骨折・軟部組織損傷などの他教科も合わせた予習・復習が必要である。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	股関節後方脱臼についてよく理解し、説明することができる。	股関節後方脱臼についてよく理解している。	股関節後方脱臼について理解している。	股関節後方脱臼についてあまり理解していない。	股関節後方脱臼について全く理解していない。
到達目標 B	膝蓋骨外側脱臼についてよく理解し、説明することができる。	膝蓋骨外側脱臼についてよく理解している。	膝蓋骨外側脱臼について理解している。	膝蓋骨外側脱臼についてあまり理解していない。	膝蓋骨外側脱臼について全く理解していない。
到達目標 C	膝関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	膝関節脱臼についてよく理解している。	膝関節脱臼について理解している。	膝関節脱臼についてあまり理解していない。	膝関節脱臼について全く理解していない。
到達目標 D	リスフラン関節脱臼、ショパール関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	リスフラン関節脱臼、ショパール関節脱臼についてよく理解している。	リスフラン関節脱臼、ショパール関節脱臼について理解している。	リスフラン関節脱臼、ショパール関節脱臼についてあまり理解していない。	リスフラン関節脱臼、ショパール関節脱臼について全く理解していない。
到達目標 E	足趾の脱臼についてよく理解し、説明することができる。	足趾の脱臼についてよく理解している。	足趾の脱臼について理解している。	足趾の脱臼についてあまり理解していない。	足趾の脱臼について全く理解していない。

【教科書】

教科書（柔道整復学・理論編一公益社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験にて評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		脱臼実技（下肢）			年度	2026
英語表記		Dislocation practical skill (Lower limbs)			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	DIP関節脱臼	DIP関節脱臼はどのように起こるのか。	1 発生機序	DIP関節脱臼の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	DIP関節脱臼症状を理解している。		
			3 合併症	DIP関節脱臼の合併症を理解している。		
2	股関節後方脱臼	股関節後方脱臼の発生についてと合併症にはどのような事があるか。	1 股関節脱臼の分類	分類について理解している。	3	
			2 症状	後方脱臼の症状を理解している。		
			3 合併症	後方脱臼の合併症を理解している。		
3	股関節後方脱臼	股関節後方脱臼の整復はどのように行うか。	1 整復障害	股関節脱臼における整復障害を理解している。	3	
			2 整復法	牽引法、回転法、スティムソン法を理解している。		
			3 固定	後方脱臼の固定について理解している。		
4	股関節脱臼	恥骨上脱臼と恥骨下脱臼の発生の違いは何か。	1 恥骨上脱臼	恥骨上脱臼を理解している。	3	
			2 恥骨下脱臼	恥骨下脱臼を理解している。		
			3 中心性股関節脱臼	中心性股関節脱臼を理解している。		
5	膝蓋骨脱臼	膝蓋骨脱臼はなぜ発生するのか。	1 膝蓋骨、大腿骨顆部の解剖	膝蓋大腿関節の構造を理解している。	3	
			2 分類	膝蓋骨脱臼の分類を理解している。		
			3 外側脱臼の発生	外側脱臼の発生機序について理解している。		
6	膝蓋骨外側脱臼	膝蓋骨脱臼が発生する為の発育異常と先天性素因とはなにか。	1 発育異常、先天性素因	膝蓋骨脱臼の発生要因について説明ができる。	3	
			2 外反膝	外反膝による発生原因について理解している。		
			3 内側広筋の脆弱化	内側広筋の脆弱化における発生原因を理解している。		
7	膝蓋骨外側脱臼	自然整復された場合の鑑別方法には何ががあるか。	1 症状	外側脱臼の症状と特徴を理解している。	3	
			2 整復法	外側脱臼の整復法について理解している。		
			3 後療法	内側広筋強化の必要性について理解している。		
8	振り返り	前半を振り返る。	1 手指の脱臼	手指の脱臼について説明ができる。	3	
			2 股関節脱臼	股関節脱臼について説明ができる。		
			3 膝蓋骨脱臼	膝蓋骨脱臼について説明ができる。		
9	膝関節前方脱臼	膝関節前方脱臼の発生と合併症はどのような事が考えられるか。	1 分類	膝関節脱臼の分類を理解している。	3	
			2 発生と症状	前方脱臼の発生と症状を理解している。		
			3 合併症	前方脱臼の合併症と注意点を理解している。		
10	膝関節脱臼	膝関節脱臼において注意しなければならないのは何か。	1 整復法	前方脱臼の整復法を理解している。	3	
			2 後方脱臼	後方脱臼を理解している。		
			3 側方脱臼、回旋脱臼	側方・回旋脱臼について理解している。		
11	ショパール関節脱臼	ショパール関節脱臼が発生しにくい理由は何か。	1 ショパール関節の特徴	ショパール関節の特徴を理解している。	3	
			2 発生機序	ショパール関節の発生機序を理解している。		
			3 症状	ショパール関節の症状を理解している。		
12	リスフラン関節脱臼	リスフラン関節脱臼が骨折を合併しやすい理由は何か。	1 リスフラン関節の特徴	リスフラン関節の構造的特徴を理解している。	3	
			2 分類	リスフラン関節の発生機序を理解している。		
			3 症状	リスフラン関節の症状を理解している。		
13	第1MP関節背側脱臼	第1MP関節脱臼の整復で注意することは何か。	1 発生機序	第1MP関節の発生を理解している。	3	
			2 症状	第1MP関節の症状を理解している。		
			3 整復法	第1MP関節の整復法を理解している。		
14	振り返り	後半を振り返る。	1 膝蓋骨脱臼	膝蓋骨脱臼について説明ができる。	3	
			2 膝関節脱臼	膝関節脱臼について説明ができる。		
			3 足部の脱臼	足部の脱臼について説明ができる。		
15	認定実技審査	認定実技審査はどのように実施されるのか。	1 審査概要	認定実技審査の概要について理解している。	3	
			2 診察及び整復	脱臼の診察、整復の実施法について理解している。		
			3 固定	脱臼の固定について理解している。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等